

# 法律論叢第 73 卷 2・3 合併号

2000 年 11 月 28 日刊行

(木元錦哉先生追悼号)

掲 載 内 容	(頁数)
<b>【論 説】</b>	
労働法学からみた木元教授の経済法論	松 岡 三 郎 (1)
いわゆる社会条項とマレーシア労働組合権	市 毛 景 吉 (35)
連帯保証債務の物上保証人所有不動産に対する 競売申立と主債務の時効中断効	伊 藤 進 (61)
唐代における法制史と医学史の交錯	岡 野 誠 (99)
刑事手続における表見証明のデフォルト構造と事実の社会的・物語的構成 ——社会構成主義のパーспекティヴと真理理論をめぐって——	増 田 豊 (129)
立証趣旨の拘束力	山 田 道 郎 (199)
ドイツにおける制作物供給契約概念の生成 ——日本法への示唆を含めて——	芦 野 訓 和 (237)
防衛意思の要否について ——シュペンデルの所説を中心に——	明 照 博 章 (299)
ヴァイマル期における失業保険制度成立の道程 ——失業への取組みとその限界——	小 西 康 之 (365)
契約交渉過程における「合意」の法的効果に関する一考察	有 賀 恵美子 (457)
<b>【研究会記事】</b>	
人事訴訟手続法一五条一項をめぐる判例の変遷を考える ——実務的視座から——	若 林 昌 子 (522)
最近の事件から無期と終身刑を考える	菊 田 幸 一 (529)